

15. オーカス創設の首脳共同声明



AUKUSの創設は国際社会に大きな波紋を広げた。この軍事協力には米英が原子力潜水艦技術をオーストラリアに供与する内容が含まれており、オーストラリアに12隻の通常型潜水艦を供与する契約を一時的に破棄されたフランスが強く反発しただけでなく、AUKUSのターゲットと目される中国も、軍拡競争を激化させるとして異議を唱えた。また、原潜で使用される高濃縮ウランは核兵器にも転用が可能で、核不拡散の観点からも懸念が表明されている。

❖ オーカス(AUKUS)に関する首脳共同声明 ❖

2021年9月15日

永続的な理想とルールに基づく国際秩序を尊重するという共通の責務に導かれたオーストラリア、英国、米国のリーダーとして、我々は、パートナーと協力することも含め、21世紀の課題に応えるためにインド太平洋における外交、安全保障、防衛に関する協力を深めることを決意する。この努力の一部とし

て、我々はオーストラリア、英国、米国からなるAUKUSと呼ばれる強力な3か国安全保障パートナーシップの創設を宣言する。

AUKUSを通して、我々の政府は、我々の長年にわたり現在も続く2国間の絆を基礎に、我々の安全保障と防衛の利益を支持するそれぞれの能力を強化する。我々はより深い情報と技術の共有を促進する。我々は、安全保障と防衛関連の科学や技術、産業基盤、サプライチェーンのより深い統合をすすめる。また特に、我々は、幅広い安全保障と防衛の能力における協力を著しく深化させる。

AUKUSにおける最初のイニシアティブとして、海洋民主主義国としての共通の伝統を認識し、我々は、オーストラリアがオーストラリア海軍用原子力潜水艦を取得することを支援するという大きな望みを共有することを約束する。本日、我々は、この能力を提供する最適な道筋を探求するために、18か月の3か国事業に着手する。我々は、オーストラリアの原子力潜水艦能力が達成可能な最も早い時期に就役できるよう、米国と英国の専門知識を活用し、両国の潜水艦計画を基礎にする。

オーストラリアの原子力潜水艦の開発は、相互運用性、共同性、そして相互利益を重視した3か国間の共同努力になるであろう。オーストラリアは核物質と核技術の不拡散、安全性、保安を確保するのに必要な高水準の保障措置、透明性・検証・計量措置を順守することを約束する。オーストラリアは、国際原子力機関（IAEA）と協力することも含め、今後とも非核兵器国としての全ての義務を満たすことを約束する。我々3か国は、世界規模の不拡散において指導的な役割を果たし続けることを心から約束する。

数十年以上構築された深い防衛上の結びつきを認識し、今日、我々は、共同の能力と相互運用性を強化するために、AUKUSの名のもとに更なる3か国協力に乗り出す。初期においては、サイバー能力、人工知能、量子技術、追加的な海中能力に努力を集中する。

我々が今日始める努力は、インド太平洋地域の平和と安定を維持するのに役立つであろう。70年間以上、オーストラリア、英国、そして米国は、その他の重要な同盟国やパートナーとともに、我々の共通価値を守り、安全保障と繁栄を促進するために、ともにはたらいてきた。今日、AUKUSの設立とともに、我々は改めてこの目標のために専念する。

出典：米ホワイトハウスHP
<https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2021/09/15/joint-leaders-statement-on-aukus/>
アクセス日：2022年1月30日